

生物多様性 - 国際シンポジウム

「環境先進国ドイツの NPO から学ぶ、 生物多様性戦略と広報力」

2014年4月29日(火・祝) 13:00~

TKP市ヶ谷カンファレンスセンター

(ホール 6C) 新宿区市谷八幡町 8 番地 TKP 市ヶ谷ビル

定員 200 名 (要事前申込み、申込先着順)

参加費 1,000 円 (資料代金・当日会場受付でお支払いください。)

趣 旨

地球上の生きものは 40 億年という長い歴史の中で、さまざまな環境に適応して進化し、3,000 万種ともいわれる多様な生きものが生まれました。これらの生命は一つひとつに個性があり、全て直接に、間接的に支えあって生きています。まさに生物多様性とは、生きものたちの豊かな個性とつながりのことです。この日本に残された、また東京の豊かな自然と生物多様性を保全する活動が次世代へと引き継いでいけるように、環境先進国ドイツの NPO 「NABU (ドイツ自然保護連盟)」のスタッフより「生物多様性の戦略」や「活動の取り組みやノウハウ等」について学び、東京で活動している NPO が生物多様性という意識を持って活動することを促進させ、COP10 における愛知目標の達成を目指します。

目 的

東京の環境 NPO のレベルアップを目指し、活動の活性化につなげます。
また各自治体に対して、生物多様性地域戦略の策定に寄与することを目的とします。



ゲルハルト・エプラー氏

Gerhard Eppler

NABU (ドイツ自然保護連盟)

ヘッセン州支部 支部代表

本職は環境評議員、生物学者。自然保護センター所長、NABU ヘッセン支部代表は無給のボランティア (名誉職) で行っている。



ライナー・ミヒャエルスキー氏

Rainer Michalski

NABU (ドイツ自然保護連盟)

ラインラントファルツ州支部 広報担当官

ラインヘッセン地域の広報官

(常に地域の活動の取材に行っているため、地域の活動を把握している)

プログラム

- 12:30 受付開始
- 13:00 開会 / 挨拶
- 13:10 基調講演①「NABU (ドイツ自然保護連盟) の生物多様性戦略」 50 分
NABU ヘッセン州支部 支部代表 ゲルハルト・エプラー氏
- 14:00 基調講演②「NABU (ドイツ自然保護連盟) の広報活動」 50 分
NABU ラインラントファルツ州支部 広報担当官 ライナー・ミヒャエルスキー氏
- 14:50 休憩 10 分
- 15:00 パネルディスカッション
(ドイツからの講師 2 名と日本から 2 名のパネリストが登壇)
- 16:30 参加者との意見交換
- 16:50 終了

日本側からのパネリスト



認定 NPO 法人
霧多布ナショナルトラスト事務局長
伊東俊和氏

ナショナルトラストによる北海道霧多布の湿原保全に尽力。エコツーリズム大賞など受賞。著書に「花の湿原霧多布」他



NPO 法人
海辺つくり研究会 事務局長
木村尚氏

東京湾をはじめとした全国の市民参加型「海辺つくり」に奔走。著書「ハマの海づくり」他、「ザ鉄腕ダッシュ」に出演

主催 一般財団法人セブン・イレブン記念財団 / 全国環境ボランティアリーダー会
後援 環境省、国連生物多様性 10 年委員会、東京都 (予定)
申込 裏面の参加申込書を E-mail または FAX でお送りください。

生物多様性—国際シンポジウム【東京会場】

『環境先進国ドイツのNPOから学ぶ、生物多様性戦略と広報力』

スケジュール

- 12:30 受付開始
13:00 開会/挨拶
13:10 基調講演①「NABU(ドイツ自然保護連盟)の生物多様性戦略」
NABUヘッセン州支部 支部代表
ゲルハルト・エブラー氏
14:00 基調講演②「NABU(ドイツ自然保護連盟)の広報活動」
NABUラインラントファルツ州支部 広報担当官
ライナー・ミヒャエルスキー氏
14:50 休憩 10分
15:00 パネルディスカッション
「生物多様性の観点をとりこんだ地域の活動にするには」
①認定NPO法人 霧多布湿原ナショナルトラスト
事務局長 伊東俊和氏
②NPO法人 海辺つくり研究会
事務局長 木村尚氏
③NABUヘッセン州支部 支部代表
ゲルハルト・エブラー氏
④NABUラインラントファルツ州支部 広報担当官
ライナー・ミヒャエルスキー氏
16:30 参加者との意見交換
16:50 終了



NABUヘッセン州支部 支部代表
ゲルハルト・エブラー氏

少年のころから自然に興味を持ち、南ヘッセンの森や川で野鳥や植物を観察したり、氷河期の化石などを近所の掘削された湖で収集していた。ダームシュタット工科大学(TUD)で生物学、地質学と環境空間プランニングを学んだ後、大学生の為の生態学的育成プロジェクトや自然環境保護、鳥類学のプロジェクトに関与。環境エキスパート、プレゼンターとして活動をし、NABUヘッセン州会長として、種々のヘッセン州の環境保護プロジェクトや、環境保護機関に係って来た。現在は、環境教育や、自然体験施設 “自然保護センターベルグシュトラッセ(NZB)” を南ヘッセンに創設し、センターの会長相談役としても、色々なイベントを開催したり 活動をしています。



NABUラインラントファルツ州支部
ライナー・ミヒャエルスキー氏

ボン生まれ、子供のころから自然に興味があり、高校卒業後 造園と農業技術アシスタントをしながら、自然保護団体でボランティア活動を行う。その後、ボン大学で農業科学、自然保護と景観生態学を学び、卒業後大学や大学付属の会社で働く。2005年 Bad Kreuznach (バード クロイツナッハ)に移住し、NABUラインヘッセン・ナーエで活動を始め、職員となる。2007年には NABUバードクロイツナッハの支部長となり 2009年からはラインラント・ファルツ州ラインヘッセン・ナーエの代表役としてホームページの制作管理、インフォメーション資料の作成やボランティア会員とのネットワーク作り、広報活動やセミナーでの講演などを行う。



認定NPO法人
霧多布湿原ナショナルトラスト
事務局長 伊東俊和氏

食品会社を経て1983年霧多布湿原の魅力に引かれ移住、霧多布湿原の保全を始める。1985年霧多布湿原ファンクラブを発足、2000年NPO法人霧多布湿原トラストを設立しナショナルトラストによる霧多布湿原の保全活動を展開。地域資源を活用した地域振興や自然環境保全活動へのCSR導入をプロデュース。自然保護をまちづくりの手段として捉え環境教育、エコツーリズムを柱とした活動を進めている。趣味はたき火。
著書「花の湿原霧多布」(北海道新聞社)「環境保全から地域創造へ」(北樹出版)



NPO法人海辺つくり研究会
事務局長 木村尚氏

NPO法人海辺つくり研究会理事(事務局長)他、東京湾を子どもたちが泳げる豊かで美しい海にしたいと考え、東京湾の環境やまちづくりに関連する多数の市民活動にも協力している。主な著書は『海辺の達人になりたい』(共著)、『森里川海をつなぐ自然再生』(共著)など。現在、日本テレビ系列「ザ! 鉄腕! DASH!! -DASH海岸-」にレギュラー出演中。

シンポジウム参加申込書

参加ご希望の方は必要事項をご記入の上、お申込み下さい。

●お問合せ・参加申し込み●セブン-イレブン記念財団 事務局
TEL 03-6238-3872 / FAX 03-3261-2513(電話受付時間9:30~17:00 ※土・日を除く)
E-mail kokusai@7midori.org ホームページ <http://www.7midori.org>

E-mail・FAXのいずれかで、
4月23日(水)までに
お申し込み下さい。



お名前(フリガナ)	ご住所	所属団体
TEL	FAX	E-mail